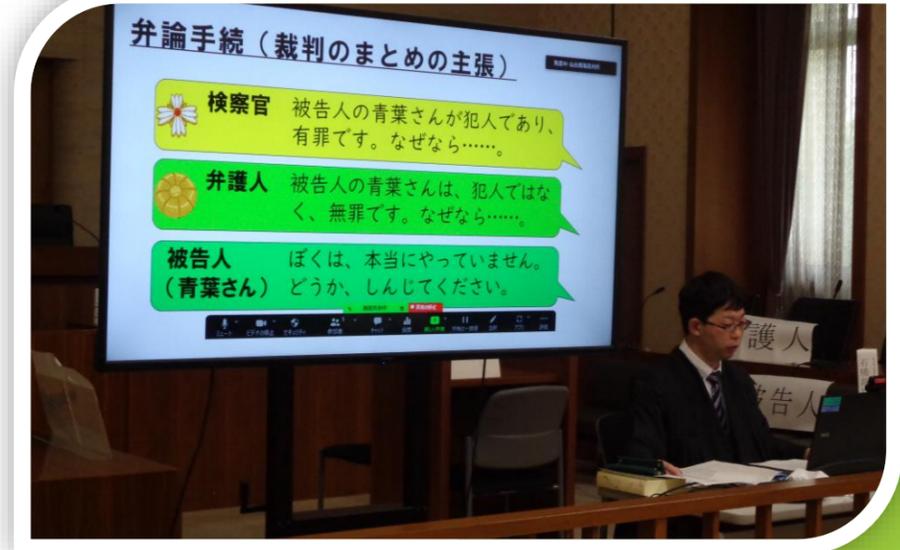


裁判所オンライン説明会

令和5年7月26日（水）、宮城県内の小中学生を対象に実施し、午前、午後で合わせて9名の児童・生徒の皆さんに参加していただきました。あらかじめ、被告人が有罪か無罪かを考えていただき、当日、仙台地方裁判所の裁判官と意見交換をしました。また、裁判官が、事前にいただいた質問に直接お答えしました。



参加者の皆さんからは、
「裁判官を目指したきっかけは何ですか？」
「どうしたら裁判官になれるのですか？」
「一番難しかった裁判は何ですか？」
「判決ではどのようなことに気を付けていますか？」
など、たくさんの質問をいただきました。



【参加者（保護者）の皆さんの感想の一部を紹介します。】

- ・本物の法廷、本物の法服を着た裁判官にワクワクした。
- ・たくさん発言できたのでよかった。
- ・裁判官の仕事についてよく分かった。
- ・裁判の傍聴もしてみたいと思った。
- ・裁判官に興味があったので、裁判官と話ができたことは大変よい経験になった。

担当した裁判官からのメッセージ

今回の説明会で皆さんとお話しできたことは、私にとっても貴重な体験になりました。模擬事例の検討ではしっかりとした意見を持って積極的に発言してくださり、皆さんが将来の裁判員に選ばれば大変心強いと感じました。質疑応答では裁判官の仕事等について鋭い質問をいただき、皆さんに裁判所や裁判官の仕事に関心を持っていただけて非常に嬉しかったです。

今回はオンラインでの説明会でしたが、裁判は自由に傍聴することができますので、今度は裁判所にお越しいただき、実際の裁判を傍聴してみてください。きっとよい経験になると思います。

仙台地方裁判所第1刑事部 石橋 直幸（いしばし なおゆき）裁判官



参加していただき、本当にありがとうございました。